

第53回日本肩関節学会学術集会・第23回日本肩の運動機能研究会
日本整形外科学会教育研修単位

日 時	会場名	形 式	演 題 名	講師名	認定番号	認定内容	単位数
10月30日(金) 12:00～13:00	第1会場	ランチョン セミナー1	腱板修復における肩峰下滑液包を用いた biological augmentation ―基礎から臨床へ―	森川 大智	26-1111- 002	[1] [9]	1
10月30日(金) 12:00～13:00	第9会場	ランチョン セミナー2	Optimizing the Glenoid in RSA : “Glenoid creates ; Humerus supports”	八田 卓久	26-1111- 001	[1] [9]	1
10月30日(金) 12:00～13:00	第2会場	ランチョン セミナー3	アスリートの肩関節外傷と障害 : 私のアプローチ	菅谷 啓之	26-1111- 003	[2] [9]	1
10月30日(金) 12:00～13:00	第3会場	ランチョン セミナー4	人類は肩痛を克服できるか？	山本 宣幸	26-1111- 004	[1] [9]	1
10月30日(金) 12:00～13:00	第4会場	ランチョン セミナー5	① リバース型人工肩関節置換術時代における 関節温存治療の再考：肩峰下バルーンスパー サーの可能性と適応 ② 一次修復不能腱板断裂に対する新たな選択肢 ～肩峰下バルーンスパーサーの可能性～	① 中澤 克優 ② 松村 昇	26-1111- 005	[1] [9]	1
10月30日(金) 12:00～13:00	第10会場	ランチョン セミナー6	① 発売3年を経て見えてきたコラーゲンインプ ラントの臨床適応と活用術：術後2年長期経 過例からの考察 ② 腱板縫合部外側に追加した Covering technique は術後の構造的連続性を改善する	① 加藤 久佳 ② 末永 直樹	26-1111- 006	[1] [9]	1
10月30日(金) 12:00～13:00	第5会場	ランチョン セミナー7	① How Far Can the Indications for RSA Be Extended? ② 人工肩関節全置換術における最新技術の クリニカルインパクト：3D プランニング からナビゲーション手術まで	① Sven Goebel ② 設楽 仁	26-1111- 007	[1] [9]	1
10月30日(金) 12:00～13:00	第7会場	ランチョン セミナー8	① 高齢者の肩関節周囲骨折の治療戦略 ② 上腕骨近位端骨折治療の落とし穴 ―失敗例から再考する 初回治療戦略―	① 森澤 佳三 ② 菊川 憲志	26-1111- 008	[2] [9]	1
10月31日(土) 8:00～9:00	第5会場	教育研修会1	① 肩の機能解剖、バイオメカニクス ② 肩の診察、画像診断	① 山本 宣幸 ② 山崎 哲也	26-1111- 009	[1] [9]	1
10月31日(土) 9:10～10:10	第5会場	教育研修会2	① 腱板断裂の診断と治療 ② 人工肩関節置換術の基礎と実際	① 森原 徹 ② 末永 直樹	26-1111- 010	[9]	1
10月31日(土) 12:00～13:00	第1会場	ランチョン セミナー9	① Next Generation Stemless Shoulder Arthroplasty Design ② ステムレス人工肩関節置換術の新たな選択肢： 開発と今後の展望	① John W. Sperling ② 八田 卓久	26-1111- 011	[1] [9]	1
10月31日(土) 12:00～13:00	第9会場	ランチョン セミナー10	① 上腕骨近位端骨折に対する Tornier Perform Fracture RSA の使用経験 ② 上腕骨近位部骨折に対する、セメントレス stem による rTSA 大・小結節骨片の締結法とセメントレス stem の可能性	① 平川 義弘 ② 高山 和政	26-1111- 012	[2] [9]	1

日 時	会場名	形 式	演 題 名	講師名	認定番号	認定内容	単位数
10月31日(土) 12:00～13:00	第2会場	ランチョン セミナー11	①解剖学的再現を目指す RSA —実現の三要素とは?— ②なぜ MIO なのか? —解剖学的原点を目指すための Augment 戦略—	①美松 泰 ②落合 信靖	26-1111-013	[13] [9]	1
10月31日(土) 12:00～13:00	第3会場	ランチョン セミナー12	①腱板修復術後の再断裂を防ぐためには —手術手技を再考する— ②肩機能を最大限に改善しながら再断裂を防ぐためのポイント	①中澤 克優 ②村木 孝行	26-1111-014	[13] [9]	1
10月31日(土) 12:00～13:00	第4会場	ランチョン セミナー13	①投球肩の外旋制限を回避する鏡視下 Bankart 修復術 —DAGHT 法のコンセプトと実際— ②野球選手の投球側 SLAP 損傷と肩関節前方不安定症に対する手術戦略	①光井 康博 ②金 容大	26-1111-015	[13] [9]	1
10月31日(土) 12:00～13:00	第10会場	ランチョン セミナー14	①上腕骨近位端骨折に対するリバース型人工肩関節置換術の現在地 —SMR Reverse を用いた治療戦略— ②TSA から RSA の移行を容易にする SMR と短期提供 PSI & PRIMA TT Glenoid の経験	①原田 洋平 ②門間 太輔	26-1111-016	[2] [9]	1
10月31日(土) 12:00～13:00	第5会場	ランチョン セミナー15	①多様な変形性肩関節症病態に対するモジュラーコンセプトの有用性 ②高齢者上腕骨近位部骨折に対するリバース型人工肩関節置換術の最適化	①市川 耕一 ②松村 昇	26-1111-017	[9]	1
10月31日(土) 12:00～13:00	第7会場	ランチョン セミナー16	①筋前進術(古川法)手技を用いた大・広範囲腱板断裂に対する鏡視下腱板修復術 ②筋前進術を受けた私が話す筋前進の話	①三谷 誠 ②永澤 雷太	26-1111-018	[13] [9]	1

日整会認定教育研修受講取得単位(認定単位種別)

N: 日整会専門医単位 S: スポーツ単位
R: リウマチ医単位 SS: 脊椎脊髄病医単位
Re: 運動器リハビリテーション医単位

- 9 肩甲帯・肩・肘関節疾患
10 手関節・手疾患(外傷を含む)
11 骨盤・股関節疾患
12 膝・足関節・足疾患
13 リハビリテーション(理学療法、義肢装具を含む)

日整会認定教育研修受講必須分野(専門医必須14分野)

- 1 整形外科基礎科学
2 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
3 小児整形外科疾患(先天異常、骨系統疾患を含む、ただし外傷を除く)
4 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
5 骨・軟部腫瘍
6 リウマチ性疾患、感染症
7 脊椎・脊髄疾患
8 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)

- 14-1 医療安全
14-2 感染対策
14-3 医療倫理
14-4 指導医講習会、保健医療講習会、臨床研究／臨床試験講習会、医療事故検討会、医療法制講習会、医療経済(医療保健など)に関する講習会など
14-5 医学全般にわたる講演会など、従来の分野14のうち14-1～14-4に当てはまらないもの
14-1～4は機構認定専門医共通講習、14-1～3は機構認定専門医必修講習(5年間で14分野を各1回以上受講しなければならない)